

# 2020年12月期第2四半期 決算説明会資料

---

株式会社アプリックス  
2020年8月31日

# 業績報告 (2020年度第2四半期)

## 20年12月期第2四半期 累計P/L (連結)



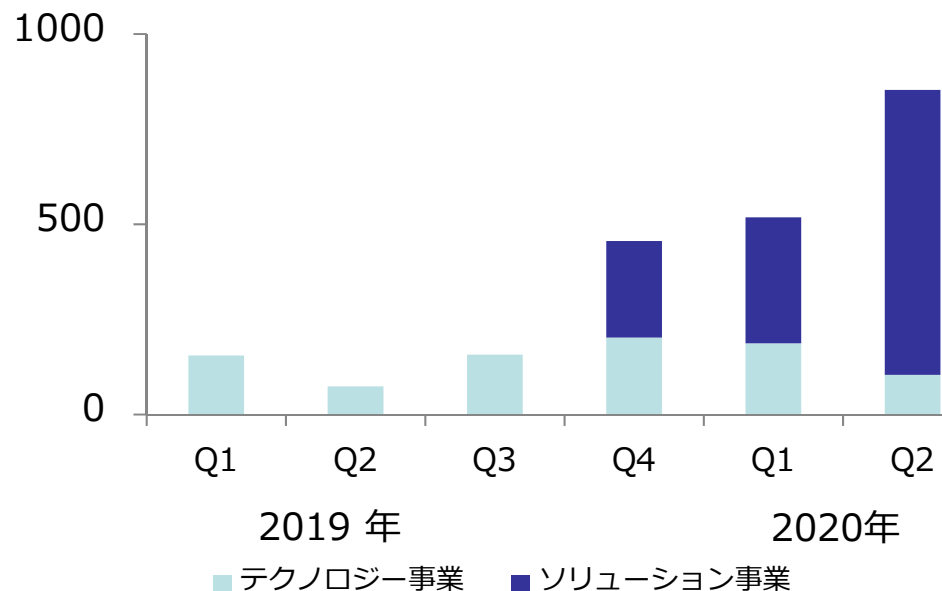
(単位：百万円)	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益
19年12月期 Q2 累計実績(B)	229	▲145	▲146	▲175
20年12月期 Q2 累計実績(B)	1,372	75	68	66
増減額 (B-A)	+1,143	+220	+215	+242
増減率 (%)	+498.2	-	-	-

- 売上高の大幅増加、また営業損益以下のすべての損益について黒字化。
- 主な要因は、スマートモバイルコミュニケーションズ株式会社 (SMC) の業績 (2020年1月~6月) が連結数値に計上されたこと、またSMCのMVNOブランド「スマモバ」における格安ケータイや格安SIM、また3月より提供を開始したモバイルWiFiルーターサービス「THE WiFi」の販売が好調に推移したことによるもの。

## 20年12月期第2四半期 売上高推移



単位：百万円



(単位：百万円)	2019年	2020年	増減率
	Q2	Q2	
テクノロジー事業	74	104	+41.0%
ソリューション事業	—	749	—%
(売上高合計)	74	853	+1049.7%
受注高	282	361	+27.9%
受注残高	79	87	+10.0%

### ▶ テクノロジー事業

売上高の主な要因は、ネスレ日本株式会社等の受託開発案件やロケーションビーコン「Mybeaconシリーズ」の販売によるもの。

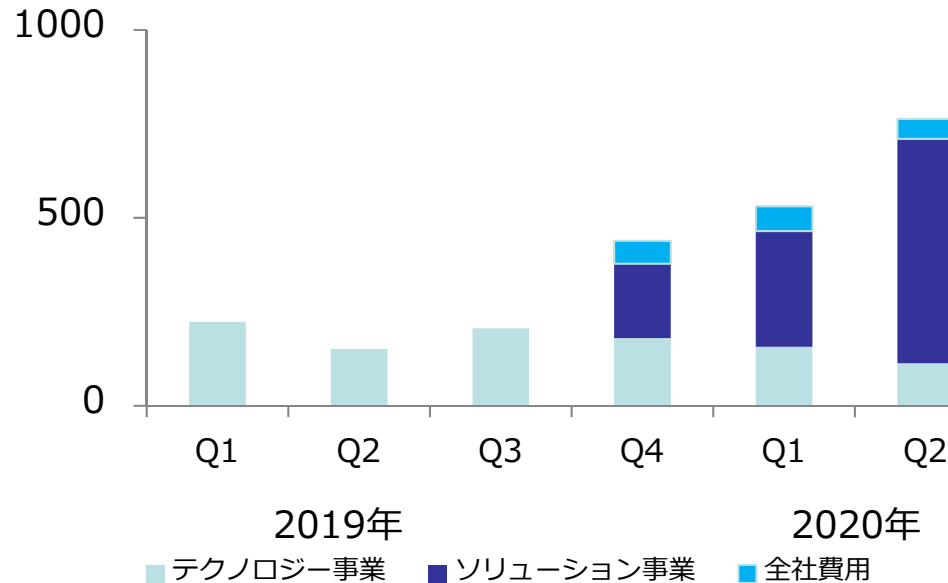
### ▶ ソリューション事業

SMCのMVNOブランド「スマモバ」で展開する格安ケータイや格安SIM、また「THE WiFi」などのモバイルWiFiルーターサービスの拡販に注力。

## 20年12月期第2四半期 営業費用推移



単位：百万円



(単位：百万円)	2019年 Q2	2020年 Q2	増減率
テクノロジー事業	95	113	+ 18.7%
ソリューション事業	—	597	—%
全社費用	56	53	▲ 3.8%
(営業費用合計)	151	764	+ 405.4%

- 前四半期と比較して営業費用が増加した理由は、ソリューション事業においてSMCに関連する販管費等やクラウド・データ通信サービスに関連する費用が発生したことによるもの。

# 業績予想進捗報告 (2020年度第2四半期)

## 20年12月期 業績予想に対する進捗報告（連結）



(単位：百万円)

	20年12月期 通期業績予想 (A)	20年12月期 2Q実績 (B)	進捗率 (B/A)
売上高	2,502	1,372	54.8%
営業費用	2,452	1,297	—
営業利益	50	75	150.0%

- 売上高については業績予想値に対して進捗率54.8%と好調に推移。主な要因としては、SMCのMVNOブランド「スマモバ」における格安ケータイ、格安SIMの販売のほか、3月より提供を開始したモバイルWiFiルーターサービス「THE WiFi」の販売によるもの。
- 営業利益については、売上高の好調な推移に伴い業績予想値を上回る利益額を計上。
- 通期業績予想値に対する営業利益の進捗は非常に好調だが、下半期（9/1～12/31）に予定していた収益が来期へ期ずれしたり、案件の獲得見込みが不透明であるなど不確実性が存在することから、現段階では業績予想値の修正は行わない（後述）。

## 20年12月期 セグメント別業績予想に対する進捗報告



(単位：百万円)

	20年12月期 通期業績予想 (A)	20年12月期 2Q実績 (B)	進捗率 (B/A)
--	--------------------------	------------------------	--------------

### テクノロジー事業

売上高	820	292	35.6%
営業費用	572	270	—
営業利益	248	21	8.5%

- テクノロジー事業の収益の中心である受託開発案件について、いくつかの案件が来期に期ズレしたこと、また下期に売上計上予定だった案件についても来期に期ズレしたことから、業績予想値に対する進捗状況は鈍化

### ソリューション事業

売上高	1,682	1,080	64.2%
営業費用	1,592	906	—
営業利益	90	174	193.3%

- MVNOブランド「スマモバ」の格安スマホや格安SIM、モバイルルータ「THE WiFi」等の拡販が好調に推移。
- 3Q以降の下期の見通しについては、後述の「THE WiFi」の速度低下等の影響により、上期より減速する見通し

### 全社費用

営業費用	288	120	—
------	-----	-----	---

- 継続的なコスト削減を実施
- 新しい働き方を推進するための体制、仕組み作りに取り組む



## <ご参考> 20年12月期 業績予想進捗報告 (SMC)



(単位：百万円)

	20年12月期 通期業績予想 (A)	20年12月期 2Q実績 (B)	進捗率 (B/A)
売上高	1,479	1,068	72.2%
営業利益	95	208	218.9%

- 売上高及び営業利益いずれも業績予想値に対して好調に推移。主な要因は、独自MVNOブランド「スマモバ」における格安ケータイや格安SIM、クラウドSIMを用いたモバイルWiFiルーターサービス「めっちゃWiFi」や「THE WiFi」の販売によるもの。

営業利益について業績予想値50百万円に対して75百万円と好調に推移。ただしP.8「20年12月期セグメント別業績予想に対する進捗報告」に記載のとおり、下期における見通しに下記記載のとおりいくつか不確実性があること、また現状において当社グループが把握する下期引き合い案件の受注額や確度等を勘案し、保守的に考えた上で当第2四半期決算発表時点では業績予想の上方修正は行わないことを決定。

### ▶ テクノロジー事業

受託開発案件において下期に予定していたいくつかの案件が来期に期ズレする見通し。  
また下期に計上予定であったいくつかの案件についても売上計上時期が来期に期ズレする見通し。

### ▶ ソリューション事業

2Qまでの上期において売上に大きく貢献したSMC「スマモバ」のモバイルWiFiルーター「THE WiFi」について、当社及びSMCのホームページでお知らせしたとおり通信速度低下の問題が発生したことに伴い、5月以降は積極的な拡販活動を控え当該状況の改善に向けて取り組んでいたことから、販売開始時と比較して販売状況が減速。下期以降は再度拡販に努める予定であるものの、市場の変化等も存在することから、販売開始時と同様に好調に販売が推移するかどうか不透明。

なお、上記に記載した不確実要素が解消される等の変動が発生した場合や、その他業績予想の今後の見通しに大きく影響を与える事象が発生した場合は、速やかに業績予想値の修正を行う予定。

# トピックス（コーポレート関連）

2020年7月29日開催のSMC取締役会において、アドベント株式会社（以下「アドベント」）におけるWiMAX及びモバイルネットワークに関する事業（以下「本事業」）を会社分割（吸収分割）の方法により承継すること（以下「本吸収分割」）について決議。

### ▶ 本吸収分割の背景

- アドベントでは、「advent WiMAX」ブランドにて本事業を展開していたものの、事業の選択と集中を行うべく、本事業より撤退しその他の事業に注力する方針を定め、本事業について譲渡先の検討を重ねており、MVNOを営む通信事業者でありすでにWiMAXに関する事業を展開しているSMCが事業譲渡の打診を受けた。
- SMC及び当社において当該提案について検討を行った結果、アドベントは本事業の撤退決定時（本年3月頃）より新規顧客の獲得を停止しており、今後顧客数については減少していくものの、現時点において1月あたり1千万円程度の売上獲得が見込まれていること、またすでにWiMAX事業を展開するSMCにおいては比較的容易に事業運営を承継できること、更には本事業の顧客へSMCが展開する他のサービス等を提案することが可能になること等から、今後減少する既存顧客から得られる収益の減少を勘案しても収益性やその他ビジネス面においてメリットがあるものと判断した。

### ▶ 本吸収分割の概要

- 効力発生日：2020年9月1日（予定）
- 取得対価：1円
- 承継資産：7,001千円（承継負債は無し）
- のれん：負ののれんとして約4百万円発生（第3四半期において特別利益として計上予定）

2020年7月10日開催のSMC臨時取締役会において本店移転について決議し、8月22日に移転完了。

### ➤ 本店移転の背景

- これまで本店を東京都文京区に構え事業活動を行っていたが、本年3月より勤務形態を完全テレワーク制度に移行したことに伴い、従業員等の使用頻度が低下。
- その後、本店使用について検討を重ねた結果、今後もSMCではテレワーク勤務制度を継続する見通しであり、本店の使用頻度は低い状況が続くことが見込まれること、また移転前の本店については賃貸オフィスでありその利用を終了することで賃料等の固定費の削減が見込まれること、更に移転先を当社本店とし、就業場所を親会社である当社と統合することで、親会社である当社とSMCの距離的な制限が解消され、より緊密に連携を図ることが可能になると見込まれること等を理由として、本店を当社本店（東京都新宿区）に移転することについて決定。

### ➤ その他特記事項

- 8月22日に当社本店内に移転完了。
- 本移転に伴う発生した費用3,423千円を、第2四半期決算において本社移転費用として連結で特別損失に計上。

## 海外子会社の清算完了



2019年3月に解散し、その後清算手続きを進めていた当社の米国における完全子会社であるAPLIX CORPORATION OF AMERICAについて、本年6月30日付で清算が終了。

また、本清算終了に伴い、為替換算調整勘定の取り崩しに伴う為替換算調整勘定取崩益や、本清算手続きに伴い発生することが見込まれる費用を関係会社整理損失引当金として計上した当該引当金の戻入益等を合計した38,185千円を、第2四半期決算において関係会社株式清算益として連結で特別利益に計上。

## 会社名

株式会社アプリックス  
[英文表記：Aplix Corporation]

## 本社所在地

〒160-0051  
東京都新宿区西早稲田二丁目20番9号

## 設立年月日

1986年2月22日

## 資本金

2,443百万円 [2019年12月末現在]

## 売上高

843百万円（連結） [2019年12月期]

## 従業員数

39名（連結） [2019年12月末現在]

## マネジメント体制（2020年7月31日現在）

代表取締役社長	根本 忍
常務取締役	倉林 聡子
取締役（社外）	平松 庚三
取締役（社外）	田口 勉
常勤監査役	大西 完司
監査役（社外）	山田 奨
監査役（社外）	坂口 禎彦

執行役員	鳥越 洋輔
------	-------

オブザーバー	根木 勝彦
オブザーバー	石黒 邦宏
オブザーバー	曽根 卓朗

## 事業内容

テクノロジー事業  
ソリューション事業

## グループ会社

株式会社BEAMO  
スマートモバイルコミュニケーションズ株式会社



株式会社アプリックス  
<https://www.aplix.co.jp/>

ご注意：本資料は、当社の事業内容等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社株式の投資勧誘を目的とするものではありません。本資料の内容には、将来の業績に関する予測等の情報を掲載することがありますが、これらの情報は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されております。よって、その実現を約束するものではなく、また今後予告なしに変更されることがあります。